

目標達成計画

作成日: 2022年 1月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	ホームの衛生面を重視するために、トイレを使用する際、他の空間と区別する必要がある。	居住空間とトイレを区別し、衛生面を重視する。	入所者のトイレ使用時の付き添いの徹底。トイレ内の状況確認。定時(2時間置き)の見回りの徹底。汚染時の都度の徹底。	1ヶ月
2	6	スタッフ同士で利用者に対してスピーチロックにならないように言葉の言い換え方を工夫、検討する勉強会の開催が必要である。	スピーチロックのないホームを目指していく。	毎月のユニットミーティングや、朝終礼で利用者様個々の様々な状態に沿った声かけの情報を共有しユニット内で統一した声掛けや支援の提供。	1ヶ月
3	35	非常時備蓄品は確保されているが、緊急時に直ぐに出せるような利用者情報の整備が必要である。	災害時避難の際、第三者が見ても分かるように情報整備をし、何時でも持ち出せるようにする。	利用者の最新の状態を常に確認し、(特に食形態等)一覧表を作成して備蓄品の側に置く。変化があった時は都度更新する。	1ヶ月
4		毎月、避難訓練をしているが、今まで地域の消防団と合同訓練が必要である。	非常時に備えて、地域との連携を深めたい。	災害時に備え、地域住民との連携、協力の要請等々のお願い、話し合いをする必要があるが、コロナ感染防止の観点から控えている。関係各位へは、運営推進会議、書面会議で報告し、意見、要望、指導等をいただいている。コロナの状況、行政の指導に合わせ対応する。	24ヶ月
5					ヶ月